




2月の園だより

令和2年2月3日

鶴来第一幼稚園
園長 大角 智恵美

1月最後の日に待ちに待っていた雪がやっと降り、白くなった園庭を見て子どもたちは大歓声を上げていました。「冬やしね〜*」なんてちょっと大人な一言があったり、ちょうど合奏の練習をしていた年中さんの部屋からからすずの音が聞こえて年少さんからは「サンタさんが来た!」とかわいっつぶやきがあったり、雪が降ったことで子どもたちの会話が豊かになりました。その後年中さんは靴をドロドロにしながら(おうちの方すみません)、貴重な雪を感じるために外へ出ていました。

明日4日は立春。暦の上では春を迎えます。園庭の梅のつぼみもだいぶ膨らみ、今にも開こうとしています。今シーズンは冬らしい寒さや雪の冷たさはあまり感じる事ができませんでしたが、春を迎えるわくわくした気持ちは変わらず膨らんでくるものですね。まだまだ冬と春が行ったり来たりすると思いますが、季節の変わり目を全身で感じていきたいと思ひます。

今日の節分の豆まきでは、年男のお父さんに子ども達のおなかの中にいる鬼を追い出してもらいました。お父さんのおなかにはどんな鬼が棲みついていたのでしょうか?聞いてみて下さい。鬼が出ていった子ども達には、何か変化が見られるのでしょうか?!

今月は保育参観が続きます。一年を通して大きく成長した子どもたちの姿を保護者のみなさまと共有する機会になればと思っていますので、よろしくお願いします。

字が読めるようになった、コマが回せるようになった、なわとびが跳べるようになった・・・など、子どもの成長は嬉しいものです。でもそのときに、今夢中になっている遊びを通して、生きていく上で大切な「目に見えない力」が育っているということにも心を向けてあげてください。ただ、この大切な力は目に見えないために気づきにくいかもしれません。そんなときは、次にあげるような視点でお子さんを見てみると、いつもと違ったお子さんの姿が見えてくるかもしれませんよ!

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

- 健康な心と体 ○自立心 ○協同性 ○道徳性・規範意識の芽生え ○社会生活との関わり
- 思考力の芽生え ○自然との関わり・生命尊重 ○数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い ○豊かな感性と表現 『幼稚園教育要領』より

これらは5歳児後半に見られるようになる姿です。しかし、3歳児、4歳児の時期から五感を使って体験し、感じることの積み重ねで少しずつ育まれていく姿です。

○災害通報訓練について

先日もお知らせしましたが、2月15日(土)に災害通報訓練を実施いたします。お休みの日ですが、もしもの場合に慌てず行動できるよう、ご家族みなさんでご参加ください。また、実施後のアンケートは17日(月)にご提出いただきますようお願い致します。

○辰口おはなしの家へのお願い

今年も辰口おはなしの家のみなさんが来てくれることになりました。ご興味のある方はぜひ遊びに来て下さい。幼稚園に入る前の小さなお友達もぜひどうぞ!

日時 2月26日(水) 10時30分

場所 プレイルーム

「鬼をやっつけたよ!」

予告状より2日遅れでしたが、1月29日に鬼が幼稚園にやってきました。子どもたちは、短い期間でしたが、鬼退治の方法を友達と一緒に考え、協力して仕掛けや武器を作りました。そんな子ども達の様子を、IBの学習者像に当てはめてみました。

| Theme | How we express ourselves | Leaner Profile |
|------------------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Central Idea | 他者との融合が創造を生む | Inquirers (探求する人) 節分のこと調べたら、鬼はイワシの匂いとヒイラギの葉っぱが嫌いなんだって。ヒイラギの枝にイワシの頭を刺したものを飾ろう! |
| Lines of inquiry | ○一人でできることと友達とできること ○チームワークとは何だろう? ○みんなで創造するとき大切なことは? | Thinkers (考える人) パナナの皮を踏んだら滑るよ。バナナの皮を床に敷き詰めよう! Risk-takers (挑戦する人) 友達が鬼を見て怖がる中、勇気を出して鬼に近づき、豆を投げたぞ! Communicators (コミュニケーションができる人) お互いの思いや考えを伝え合い、鬼退治に必要な物を作ったり役割を決めたりする中で、友達と一緒に作り上げていく楽しさを感じる。 |

子ども達からは本当にたくさんのアイデアが飛び出しました。縦割りグループで活動したのですが、いつものクラスでは見られない子どもの姿もあり、先生たちにとってもたくさんの新しい発見がありました。子どもたちの活躍のおかげで、鬼は「まいりました。もうきません。」の置き手紙を残し、獅子吼の山へ帰って行きました。鬼退治の様子はブログにも載っていますのでご覧ください。(鬼さんも子どもたちの仕掛けに全力で挑んだので、子どもたちを怖がらせてしまったかもしれません。ごめんね。)

2月のねらい



学年末のこの時期。友達と力を合わせることの醍醐味が味わえるような活動や、一つ大きくなることを感じられるような異年齢の関わりを増やしていきたいと思ひます。



つくし ○身の回りのことを自分から進んでしようとする。
○友達や保育者とごっこ遊びや表現遊びを楽しむ。

年少 ○園生活に見通しや期待を持ち、自分の身の回りのことを進んで行おうとする。
○考えたことや感じたことを、動きや言葉で表現しながら遊ぶ。
○身近な自然に親しみ、不思議やおもしろさに気付いたり季節の変化を感じたりする。

年中 ○自分の考えを友達に伝えようとしたり、相手の思いに気付いたり共感したりしながら遊びを進める楽しさを味わう。
○自然の変化に興味を持ち、季節ならではの遊びや行事に親しむ。

年長 ○共通の目的に向かって友達と考えを出し合いながら協力し、表現する楽しさを味わう。
○一人ひとりが自分の力を発揮し、意欲的に遊びや生活に取り組む中で、友達とのつながりを深めていく。
○冬の自然に関心を持ち探求したり、伝統行事に親しみをもち遊びや生活に取り入れたりして楽しむ。

新年度に向けて・・・

- *4月以降、バスの利用を止める方や、新たに利用を希望される方は早めに園へお知らせください。
- *新年長、新年中クラスの保護者の方は、保育参観の後で次年度の学年委員と運営委員を決めますのでよろしくお願い致します。



今年は4年に1度のうるう年。地球の公転の周期が暦より少しずれていて、うるう日はそのずれを調節するための日です。いつもの年にはない2月29日は何をして過ごしますか?家族みんなで考えてみるのも楽しいですね。